

のらぼう



【事務局】

住所：川崎市多摩区菅2-6-1

電話番号：044-944-2107

(川崎市立菅小学校内)

発行責任者／羽鳥祥子

編集責任者／國分朋子

編集発行／広報委員会

子どもがいきいき育つまち おとなもともに話しあい学びあおう

私たち**菅中学校区地域教育会議**は、「菅小学校」と「菅中学校」の学区を対象に活動を行っています。菅中学校区内の「町内会・子ども会・青少年指導員等の地域住民」

「小中学校の教職員・保護者」など、様々なメンバーから構成されており、

川崎市教育委員会が市内全中学校区、行政区に委託・推進している組織です。

2025年度総会を開催！

6月4日(水) 2025年度総会が菅小学校図書室にて開催されました。今年度委員総数は58名、総会当日の出席者が47名、委任状提出が2名となり、本総会の予算案、実施計画案等は無事承認されました。

今年度より菅小学校菅中学校両学校とも新しい校長先生が着任し、また両校PTA会長も新規交代・さらに新住民委員も加わって当会議は新しい顔ぶれが多く並ぶスタートとなりました。両校長先生からは着任の挨拶とともに学校の様子、また生徒たちの様子や活気に溢れた菅の印象についてのお話がありました。



羽鳥議長からの開催挨拶では、**学校教育と社会教育を両輪**として子どもたちの育つ環境を大切に思う気持ち・地域を大切に思う気持ち、大人も**語り合うことをしながら様々な視点をもとに互いに学びあい信頼できる地域の仲間づくり**をこれからも続けていく重要性が述べられ、参加者皆うなづきながら耳を傾けていました。

続いて昨年度の活動とともにコロナ禍以前の活動を振り返るスライドも一同で鑑賞し、当時の活動の様子や思いについて羽鳥議長から説明がありました。子どもたちと大人と一緒に町探検する環境委員会の様子や、大人たちが輪になって意見交換する「教育を語るつどい」委員会のイベント、菅小学校の体育館で多くの小学生中学生と一緒にグループ対話・異学年交流をしながら体を動かす「子ども会議」委員会の体験型子ども会議冬フェスタの様子や様々な工夫を経て今の活動になっていく過程など、今年度より当会議に参加された委員の皆さんや先生方には新鮮に感じたことでしょう。そして活動を続けてきたこれまでの委員の皆さんも、改めて何か工夫をして活動していく思いが強まったように感じました。**全体で菅中学校区地域教育会議の活動を改めて振り返り、これからの地域教育会議を考える意識共有の時間**が持たれる総会となりました。

2025年度 活動予定



- | | | |
|----------|---------------|-------------------------|
| 6/4(水) | 総会 | |
| 9/24(水) | 「子ども会議」委員会 | 第1回ディスカッション型子ども会議 |
| 10/23(木) | 「子ども会議」委員会 | 第2回ディスカッション型子ども会議「かるた会」 |
| 11/6(木) | 第1回ネットワーク会議 | グループ討議 |
| 12/6(土) | 「子ども会議」委員会 | 体験型子ども会議「冬フェスタ」 |
| 1月予定 | 「教育を語るつどい」委員会 | イベント |
| 1月予定 | 「子ども会議」委員会 | 第3回ディスカッション型子ども会議 |
| 3/13(金) | 第2回ネットワーク会議 | 活動振り返りとグループ討議 |

今年度は菅小学校体育館
改修工事のため、
12/6冬フェスタは
菅中学校体育館で開催予定です。
お楽しみに♪

議長挨拶

菅中学校区地域教育会議 議長 羽鳥祥子

議長4年目の羽鳥です。今年も菅中学校区に住む皆さんと一緒に「地域のつながり」「社会教育」「時事問題」「子どもの権利」など様々なテーマで「地域教育会議」で話し合っていきたいと思います。様々な意見を持っている多世代の大人たちが対話する姿は、子どもたちに「お互いを理解することで安心して暮らせる町、国づくりになる」ことを伝えられるのではないかと考えています。そして、子どもたちには「子ども会議」で「自分の意見を発する、聞いてもらう」「相手の意見を聞く」経験を積んでいってもらえたらと願っています。さて、以前の総会でもご案内しましたが、子どもから大人までの世代にもわかりやすく「考えを持つこと、意見を発すること、聞くことの大切さ」が書かれている本があります。

「くうき」が僕らを呑みこむ前に～脱サイレント・マジョリティ～ 山田健太 (著), たまむらさちこ (著)

「空気を読むこと」は生きる知恵なのでしょうか？偉い人、賢い人の言うとおりにしていれば、多数決で決めていけば、平和な世界になるのでしょうか？そんな疑問に答えてくれる「権利」の学びの本です。ぜひお読みください！今年もよろしくお願いいたします。



生まれたときから身の回りにある「自由」と「民主主義」について、若い人の身近な日常に即して描く、「言論の自由」専門研究者と絵本作家のコラボレーションによる絵本。出版社：理論社



6月4日に開催された地域教育会議総会に初めて参加させていただき、菅中学校区の子どもたちが、地域の多くの皆様にあたたかく支えていただいていることを改めて感じました。今後の地域教育会議の活動を通して、子どもたちや地域の皆様、そして教職員のウェルビーイング※が高まることを願っています。

ウェルビーイング
※ Well-being とは
心身ともに健康で幸福な状態

4月より菅小学校の校長となりました、首藤 弘明と申します。菅中学校区地域教育会議は様々なイベントを通して、菅っ子が元気いっぱい、夢いっぱいになるよう見守っていると聞いております。ぜひ、ウェルビーイング※な地域教育会議になるよう共に活動していきたいと思います。1年間よろしくお願いいたします。

ウェルビーイング (Well-being) は、「心身ともに健康で幸福な状態」を示す教育用語です。幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいい、教育においても、世界的に非常に重視されている考え方です。ウェルビーイング教育は、学力に加えて物事に対するマインドセットや意欲など、自己形成において内面的な力を育むことが大事と考えられています。

「子ども会議」委員会では 菅中学生にアンケートを実施しました

「冬フェスタ」アンケートへの回答のお願い

「子ども会議」委員会が企画している「子ども会議」の目的は、「子どもの権利条約」の中にある「(社会に) 参加する権利」の1つ、「子どもの意見表明」の実現です。自分の考えを言葉にするスキルや、人の意見を聞くスキル、そして意見交換する機会・経験などの企画をしています。毎年、地域住民、学校の先生、地域の色々な活動をしている団体のみなさんと一緒に工夫して考えてきました。

「子ども会議」の1つに毎年12月にやっている体験型子ども会議「冬フェスタ」があります。冬フェスタは動画で見ていただいた通り、小学生と中学生の子どもたちを7、8人の異年齢グループに分け、最初に7つの楽しい競技(作戦会議やチーム戦も)で盛り上がって仲良くなっていきます。そして、そのあとグループごとに菅の地域の遊び場について話し合ってもらい、そんな企画です。遊び場について何か提案などあったら、大人スタッフで実現を検討することもできます。リピーターも多く、毎年多くの小中学生が参加してくれていますが、コロナ禍以降、参加者が減ってきました。君たちのアイデア、発想で、どう改善したらいいか、アイデアを話し合いたいと思っています。学校、部活、習い事、塾など忙しいと思いますが、ぜひアンケートに答えて、私たちに応援してください。

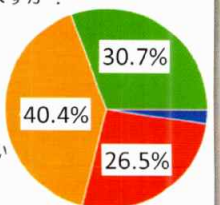
「子ども会議」委員会所属の菅中学校先生ご協力のもと、ギガ端末を使い菅中学生にアンケートを実施しました。冬フェスタの企画会議への参加については、多忙な中学生ながら26.5%が都合がつけば参加しても良いと回答し、協力の意思、期待を感じられるものとなりました。「どんな工夫があれば冬フェスタに参加してみたいと思いますか」の自由記述の質問では、1学年は中学生の自分たち自身が小学生と楽しめることを期待する回答、2学年は具体的な代替案とやる内容を回答、3学年はさらに視野を広げ卒業生や先生も楽しめるものや具体的かつ意義を認識しながらの助言や回答が多数あり、各学年ごとの成長と理解が表れていました。

アンケートを実施することで、子ども会議の目的自体を改めて考え、子どもたちと一緒に企画することを目標に大人たちも互いに話しあい活動を深めていきたいと感じるものとなりました。

Q5. 冬フェスタの企画会議に参加してくれませんか？

332件の回答
回答率は91.5%
(菅中生全体のうち)

- 参加したい
- 都合がつけば参加しても良い
- 参加できない
- 興味がない



◆2025年度菅中学校区地域教育会議メンバー◆

＜役員＞

- ◇議長 / 羽鳥祥子
- ◇副議長 / 香取勝喜・山本勇樹・善岡憲治・米山正洋・今泉 進
- ◇会計 / 鈴木和美
- ◇会計監査 / 丸井大輔・高梨 信
- ◇事務局長 / 木村 徹

協同・共同

共に連携しあい、
地域教育力の向上を目指して
菅中学校区の
子育てや生涯学習を考えます

役員メンバーは総会・ネットワーク会議の企画・運営を行い、川崎市の代表者会議や行政区の交流会に参加し、他校区、行政区との情報交換、また行政区や市全体への意見、問題提起などを発信しています。

「ディスカッション型子ども会議」と「体験型子ども会議」を企画・実行しております。「ディスカッション型」は中学生を主体とした話し合い、「体験型」は競技を通じて異学年との交流を深める「冬フェスタ（ミニ運動会）」です。

「子ども会議」委員会



委員長 佐々木由果

今年度もディスカッション型子ども会議と体験型子ども会議『冬フェスタ』を実施します。会議では、子どもたちが主体的に話し合いに参加し、会議の進め方を学びながら、互いの意見に耳を傾けることを大切にしています。今年度の『冬フェスタ』は、12月6日（土）に、初めて菅中学校の体育館で開催予定です。小学生と中学生と一緒に楽しい時間を過ごせるよう、これから企画を進めていきます。たくさんのご参加をお待ちしております。

- ＜委員長＞ 佐々木由果（住民委員）
- ＜副委員長＞ 米山正洋（住民委員）
- ＜会計＞ 藤井奈美（住民委員）
- ＜メンバー＞ 香取勝喜（住民委員）
- 木村 徹（住民委員）
- 中原博明（住民委員）
- 細井秀文（住民委員）
- 西田 翼（菅中教員）
- 関澤春泰（菅中教員）
- 吉岡久美子（菅小総括教諭）
- 望月美和子（菅小教員）
- 稲葉遼子（菅小教員）
- 藤澤遥郁（菅小教員）
- 衛守 剛（菅小PTA）
- 山本健太（菅小PTA）
- 平山みどり（菅中PTA）
- 太田明美（菅こ文館長）
- 松谷愛美（菅保育園）
- 江見唯志（菅子ども部会）
- 山根利子（青少年指導員）
- 尾形 隆（スポーツ推進委員）
- 西山ゆみ（スポーツ推進委員）

環境委員会

地域で子どもたちを健全に育成するために、世の中の動き、社会的問題を踏まえて、菅の環境について話し合います。



委員長 鈴木健一

昨年度の活動では、2月に開催された「ほしのこ☆ぼうさいランド@SUGA」にて防災勇士トリプルウィングの敵役として環境委員3名が参加し、子どもたちと防災を楽しく学ぶ機会となりました。今後の活動は「こども110番マップ」の活用と危険箇所調査に向け、菅小PTAや校外委員会との連携企画も提案。地域と連携し、子どもたちにとって安全・安心なまちづくりへ進めて行きたいと考えています。

- ＜委員長＞ 鈴木健一（住民委員）
- ＜副委員長＞ 善岡憲治（住民委員）
- ＜会計＞ 今泉 進（住民委員）
- ＜メンバー＞ 山本 新（菅中教頭）
- 相川 仁（菅小教頭）
- 渡邊美海（菅小教員）
- 平山方夫（保護司）
- 西山 昇（菅町会）
- 藤原裕二（菅第一地区民児協）

様々な関連団体から構成されています

住民委員・菅中学校・菅小学校・菅保育園
菅こども文化センター・保護司・菅中菅小PTA
菅町会・菅子ども部会・青少年指導員
スポーツ推進委員・菅第一地区民児協

【オブザーバー団体】

- 菅小学校わくわくプラザ
- 愛児園学童ホール
- 菅小学校・寺子屋「菅人(すげんぢゅ)」運営委員会
- 菅中学校・寺子屋菅中実行委員会

菅中学校区地域教育会議の構成員は、学校長・こ文館長・PTA会長などの**非選出委員**と学校教職員・PTA（会長を除く）・子ども部会・民児協などの関連団体からの**選出委員**、活動の要となる**住民委員**で構成されています。また、オブザーバー団体もネットワーク会議に参加します。

「教育を語るつどい」委員会

大人が中心となって地域を知り、意見交換や話し合いで地域の交流となる企画をします。



委員長 山本勇樹

世代や立場の違う大人たちが、子どもをキーワードに話し合い、意見を共有できる機会を提供する委員会にしていきたいと考えています。

<委員長>	山本勇樹	(住民委員)
<副委員長>	深澤孝文	(住民委員)
<会計>	千葉朋之	(菅子ども部会)
<メンバー>	梅垣美香	(住民委員)
	鹿島 智	(住民委員)
	高森康広	(住民委員)
	倉持暁好	(住民委員)
	築地美津子	(住民委員)
	丸井大輔	(菅中PTA会長)
	高梨 信	(菅小PTA会長)
	三島史子	(菅小教員)
	黒岩阿希子	(菅小教員)
	飯尾 恵	(菅小教員)
	大森孝弘	(菅中教員)
	塚田善之	(菅中教員)
	池村 壮	(菅中教員)
	伊藤主真	(菅中教員)
	田島雪枝	(菅中PTA)
	中田英徳	(青少年指導員)
	田中千恵子	(菅第一地区民児協)

広報委員会

地域教育会議の活動を広くお知らせするため、広報紙「のらぼう」の編集・発行をします。



<委員長>	國分朋子	(住民委員)
<副委員長>	鈴木和美	(住民委員)
<会計>	〃	
<メンバー>	鈴木こずえ	(菅小教務主任)
	柿沼莉帆	(菅中教員)

委員長 國分朋子

各委員会活動やイベント、ネットワーク会議の活動報告等、わかりやすい記事を継続して目指します。今年度も少数精鋭にて頑張ります。